

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 岳史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 西原 哲司

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,339	5.7	329	△8.8	336	△8.6	180	△25.3
23年3月期第3四半期	15,454	0.8	360	△3.5	368	△3.6	241	18.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 180百万円 (△28.0%) 23年3月期第3四半期 249百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,110.15	6,108.71
23年3月期第3四半期	8,183.11	8,180.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	4,919	2,642	53.7	89,427.93
23年3月期	4,842	2,505	51.7	84,801.34

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,642百万円 23年3月期 2,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				1,500.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.7	350	△12.4	352	△20.8	194	△37.5	6,565.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	30,972 株	23年3月期	30,972 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,425 株	23年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	29,547 株	23年3月期3Q	29,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）における我が国の経済は、東日本大震災からの復旧・復興が徐々に進んではいるものの、震災前の水準までには回復せず、雇用情勢、個人消費は依然として低迷しております。また、タイの洪水被害により主要製造業において工場の操業停止が相次ぐ等サプライチェーンの混乱が多方面に拡がり消費市場にも悪影響を与え、欧州債務危機に端を発する世界的な景気減速懸念や円高の定着など、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業、その他事業の各事業において、既存事業の販路拡大に努め堅調に推移したものの、水宅配事業におきましては、東日本大震災の影響による「ウォーターサーバー」の供給の遅れが予測を上回り、新規顧客の獲得に支障が生じ投資に遅れが発生しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高163億39百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益3億29百万円（前年同四半期比8.8%減）、経常利益3億36百万円（前年同四半期比8.6%減）となり、四半期純利益1億80百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

②セグメント情報

<モバイル事業>

モバイル事業におきましては、社団法人電気通信事業者協会推計による当第3四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成23年12月末で1億2,546万件と、平成23年3月末より約592万件増加しました。キャリア別純増数では、平成23年3月末よりNTTドコモ約161万件（純増シェア27.2%）、au約129万件（純増シェア21.9%）、ソフトバンク約242万件（純増シェア40.9%）、イー・モバイル約58万件（純増シェア9.9%）となりました。

このような中、当社においても各キャリアの年末商戦に向けたスマートフォン（高性能携帯電話）を中心とした新商品の発売による需要の高まりから端末販売台数が増加いたしました。

また、販売台数の増加を主目的として、引き続き高いシェアを占める関東圏に注力し、積極的に新規出店に努めると共に、将来の安定収益の確保および売れ筋端末の確保のため、販売店支援に注力しました。そして、当社系列の携帯電話販売店舗のブランドを一つに結集し、スケール感をもってブランドの拡大を図るため、新たな店舗ブランド「モバワン」への看板の統一化および新規出店を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は116億44百万円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益2億70百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

<オフィスサプライ事業>

オフィスサプライ事業におきましては、依然として引き続き企業のコスト節減意識は高く、オフィス文具用品の買い控え等の影響を受け、厳しい状況が続いている中、さらに東日本大震災の影響を受け、東日本エリア（北海道・東北・関東）の「獲得件数」および「稼働顧客数」の減少を予想しておりましたが、必要な商品を適時に購入・調達することが可能なインターネットショッピングの強みが再確認されたことから、予想に反して需要の落ち込みは僅少に留まりました。

また、前年に引き続き当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客の獲得と既存顧客への継続利用の促進に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45億18百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益87百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

<IT事業>

IT事業におきましては、既存顧客への業務の最適化を推し進めた結果、安定的に収益を確保出来る体制となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は55百万円（前年同四半期比29.5%減）、営業利益20百万円（前年同四半期比81.0%増）となりました。

<水宅配事業>

水宅配事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用し、これまで培ったアウトバウンドコールのノウハウを生かし、積極的な顧客獲得を進める予定でございましたが、東日本大震災の影響により予想以上に「ウォーターサーバー」の供給が遅れ、新規顧客の獲得に支障が生じました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は99百万円（前年同四半期比135.9%増）、営業損失38百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、コスメティクス販売事業の今後の積極的な広告宣伝に向け、販路の開拓、新商品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24百万円（前年同四半期比54.5%減）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業利益9百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は49億19百万円で、前連結会計年度末に比べ77百万円の増加となりました。主な増加は、商品及び製品の増加2億21百万円、現金及び預金の増加66百万円等であり、主な減少は、受取手形及び売掛金の減少1億4百万円、有価証券の減少1億円等であります。

負債は22億77百万円で、前連結会計年度末に比べ59百万円の減少となりました。主な増加は、長期借入金の増加1億3百万円等であり、主な減少は、未払法人税等の減少1億32百万円等であります。

純資産は26億42百万円で、前連結会計年度末に比べ、1億36百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億80百万円等であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成23年11月4日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,159	970,347
受取手形及び売掛金	1,114,298	1,009,642
有価証券	100,000	—
商品及び製品	712,144	933,336
その他	521,903	531,807
貸倒引当金	△4,980	△4,752
流動資産合計	3,347,525	3,440,381
固定資産		
有形固定資産	108,358	170,318
無形固定資産		
のれん	415,286	456,577
その他	3,498	3,327
無形固定資産合計	418,785	459,904
投資その他の資産		
差入保証金	641,871	646,327
その他	365,421	242,018
貸倒引当金	△39,694	△39,589
投資その他の資産合計	967,597	848,756
固定資産合計	1,494,741	1,478,979
資産合計	4,842,267	4,919,361
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,133,546	1,181,691
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	62,000	90,648
未払法人税等	156,753	24,436
その他	362,293	257,613
流動負債合計	2,214,593	2,054,388
固定負債		
長期借入金	46,000	149,467
その他	76,047	73,178
固定負債合計	122,047	222,645
負債合計	2,336,641	2,277,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,753	527,753
資本剰余金	487,355	487,355
利益剰余金	1,742,558	1,878,774
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,506,903	2,643,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,278	△792
その他の包括利益累計額合計	△1,278	△792
純資産合計	2,505,625	2,642,327
負債純資産合計	4,842,267	4,919,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	15,454,640	16,339,832
売上原価	13,474,034	14,455,691
売上総利益	1,980,605	1,884,141
販売費及び一般管理費	1,619,907	1,555,012
営業利益	360,698	329,129
営業外収益		
受取利息	3,582	2,827
受取手数料	1,884	7,470
助成金収入	4,935	2,131
債務勘定整理益	5,797	—
その他	1,453	1,482
営業外収益合計	17,653	13,911
営業外費用		
支払利息	9,931	6,052
その他	123	330
営業外費用合計	10,055	6,383
経常利益	368,296	336,657
特別利益		
事業譲渡益	88,000	22,278
受取和解金	27,000	—
特別利益合計	115,000	22,278
特別損失		
減損損失	—	3,947
固定資産除却損	791	6,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,519	—
特別損失合計	9,310	10,821
税金等調整前四半期純利益	473,986	348,114
法人税、住民税及び事業税	193,541	144,415
法人税等調整額	29,951	24,162
法人税等合計	223,493	168,577
少数株主損益調整前四半期純利益	250,492	179,536
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	8,706	△1,000
四半期純利益	241,786	180,536

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	250,492	179,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△588	485
その他の包括利益合計	△588	485
四半期包括利益	249,904	180,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,197	181,022
少数株主に係る四半期包括利益	8,706	△1,000

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	10,033,576	4,585,994	78,421	659,914	96,732	15,454,640	—	15,454,640
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	432	2,870	12	—	—	3,315	(3,315)	—
計	10,034,009	4,588,865	78,434	659,914	96,732	15,457,955	(3,315)	15,454,640
セグメント利益 又は損失 (△)	227,241	96,580	11,402	30,309	△4,835	360,698	—	360,698

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,643,782	4,516,193	55,262	99,855	24,738	16,339,832	—	16,339,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	483	2,109	—	—	36	2,628	(2,628)	—
計	11,644,266	4,518,303	55,262	99,855	24,774	16,342,461	(2,628)	16,339,832
セグメント利益 又は損失 (△)	270,072	87,666	20,637	△38,094	△11,152	329,129	—	329,129

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「I T事業」、「人材事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「I T事業」、「水宅配事業」、「その他事業」の5つに変更しております。この変更は、「人材事業」を営むアルファテクノロジー(株)の株式を売却し、前連結会計年度より同社が連結の範囲から除外されたことによるものと、「水宅配事業」について、同事業セグメントの重要性が増したことから、第1四半期連結累計期間より、「水宅配事業」を新たな報告セグメントとしたことによるものであります。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りであります。

	報告セグメント							調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	人材事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高									
外部顧客への 売上高	10,033,576	4,585,994	78,421	659,914	42,335	54,397	15,454,640	—	15,454,640
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	432	2,870	12	—	—	—	3,315	(3,315)	—
計	10,034,009	4,588,865	78,434	659,914	42,335	54,397	15,457,955	(3,315)	15,454,640
セグメント利益 又は損失 (△)	227,241	96,580	11,402	30,309	△14,495	9,659	360,698	—	360,698

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水宅配事業」セグメントにおいて、事業の譲受けによりのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては160,000千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。